

# 大量万引きと戦う

## 防止機構がシンポジウム

全国万引き犯罪防止機構(東京都新宿区、竹花豊理事長)はSECURITYS HOW2016セミナー期間中の3月11日、東京ビッグサイト大会議室で「大量万引きとどう戦うか・米事情と最新のトレンド」と



5人のパネリストが提言

題したシンポジウムを開催し、240人が参加した。

同機構は昨年10月、アメリカ・マイアミ州で開催された「常習万引・集団窃盗未然防止国際サミット」に参加し、多くの情報を得た。これを共有し、万引き犯罪対策のために情報共有することが趣旨だ。

首都大学東京・都市教養学部法学系教授の星周一郎氏が基調講演として、サミットの報告を行った。

パネルディスカッションは竹花理事長がコーディネーターとなり、全国警備業協会・山本正彦研修センタ

ー兼教育企画部統括課長、

インターネットホットラインセンター・吉川誠司センター長、日本チェインドラッグストア協会防犯有事委員会・高野芳男氏、ユニクロ在庫コントロール部・佐藤誠氏、星教授の5人が、パネリストとして参加した。

2014年に群馬県で発生した化粧品組織的な大量窃盗事件を例に挙げ、再発の可能性に警鐘を鳴らした。ネットオークションを含む盗品の買い取りを食い止めるため、業界間の連携が重要との意見が出た。

資料として使用した「常習万引・集団窃盗未然防止国際サミット報告書」は、全警協で販売を開始した(定価2000円・加盟員は1800円)。